

日・キューバ首脳会談 関係強化のための諸施策 (ファクトシート)

<経済・経済協力>

- 日本貿易保険（NEXI）による対キューバ海外投資保険の引受を再開し、日本企業の投資拡大を後押し。
- 日本貿易振興機構（JETRO）とキューバ商業会議所との間で協力に関する覚書に署名。
- 日本貿易振興機構（JETRO）が今年11月にハバナで開催されるハバナ国際見本市へのこれまでで最大規模の日本館を出展。
- 第2回官民合同会議を政務レベルに格上げし、具体的な投資案件の早期実現に向け本年11月に東京で開催。
- 2017年2月に官民インフラ会議を開催し、キューバにおける「質の高いインフラ投資」への理解促進を図り、日本のインフラ関連企業のキューバ進出を支援。
- 民間航空輸送の重要性を認識し、キューバとの航空分野における関係強化を進め、日・キューバ両国の交流促進を図る。
- 対キューバ債務救済措置に関する文書への署名（9月19日）。
- 本格的な無償資金協力の第1号案件となる、癌の診断機能及び低侵襲治療の強化を目的とした医療機材の供与に係る交換公文を締結（9月22日）。この関連で、日本は、癌等の診断に対する医療体制の強化・改善を支援するための新たな技術協力の実施を表明。
- 「キューバ・日本医療センター」設立に向けたフィージビリティ調査を開始し、日本の先端的医療機器やシステムとキューバの優れた医療技術の融合を図る。
- キューバにおける食料分野の発展を支援するため米種子増産を目的とした農業機材供与に向けた調査を加速することを表明。
- キューバの経済社会開発及びキューバの国際収支をめぐる状況の改善に資する無償資金協力を実施する意向を表明。
- 今後の日本企業のキューバ進出等、日・キューバ間の経済関係が一層強化されることへの期待を表明し、将来の有償資金協力の課題を議論。
- キューバの農業開発及び持続可能な社会・経済開発の更なる進展に寄与する立場を表明。エネルギー、交通等の分野における調査団の派遣を皮切りに、今後、キューバに対して本格的な経済協力を推進していくため、キューバにJICAが事務所を開設することを伝達し、キューバ側の協力への期待を表明。

<交流の拡大>

- ツーリズムEXPOジャパン等の機会を活用した更なる二国間の観光交流を促進。
- 東京外国語大学及び早稲田大学とハバナ大学との間で協力に関する協定に署名。

- 国際交流基金の放送コンテンツ紹介事業を通じ、今後日本のテレビコンテンツをキューバ側テレビ局に提供し、キューバ国民の対日理解の促進を図る。
- 2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の東京開催の成功に向けた日本政府のスポーツを通じた国際貢献策「Sport for Tomorrow」の取組及び野球を始めとする両国間における活発なスポーツ交流を更に加速するため、野球競技における講師を日本から派遣し、また、体操競技の選手及びコーチ等を日本に招へい。
- 「Juntos!!対日理解促進交流プログラム」、文部科学省国費留学生、JICA研修制度、国際交流基金日本語研修プログラム等を利用して今後3年間に100人以上のキューバ人を招へい。

<国際社会の諸課題の解決に向けた協力>

- 以下のキューバとの要人往来の機会を捉え、安保理改革の早期実現、軍縮・不拡散及び原子力の平和的利用に向けた協力、北朝鮮情勢等につき意見交換を実施。
 - ・カブリサス閣僚評議会副議長の訪日（平成27年3月）
 - ・岸田外務大臣のキューバ訪問（平成27年5月）
 - ・ディアスカネル国家評議会第一副議長兼閣僚評議会第一副議長の訪日（平成28年6月）
 - ・安倍総理大臣のキューバ訪問（平成28年9月）
- カリブ諸国連合における議長国としてのキューバの取組を評価。今後、カリブ諸国との連携を強化するために、日本は同連合へオブザーバー国加盟。